

SDGsの取組に関する評価・診断ツール

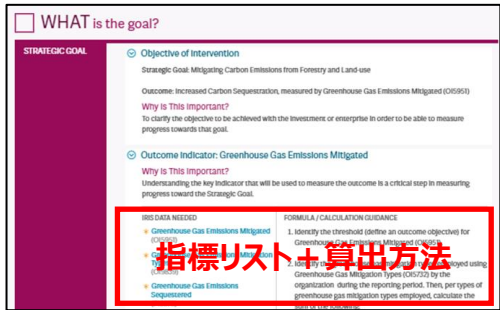
(2023年8月)

IRIS+ (ver 5.2)

- GIIN（グローバル・インパクト投資ネットワーク）が開発。2019年公開。
- 投資家や事業者等が、事業によるSDGs各ゴールや気候変動、生物多様性等の分野ごとのインパクトを定量的・定性的に測定・管理・最適化するために活用する体系的な指標セット表示システム。
- オンラインシステムで、無料で使用できるが、登録が必要。

二国間クレジット制度と持続可能な開発への貢献活用ガイダンス

- 地球環境戦略研究機関（IGES）が開発。2020年8月公開。
- 事業者等が、再エネ、省エネを目的とした事業である二国間クレジット制度（JCM）事業によるSDGs各ゴール・ターゲットごとのインパクトを定量・定性的に評価するための指標検索ガイダンス。
- ガイダンス文書であり、無料で公開・使用できる。



- 評価したいSDGsゴールやカテゴリー分野等を選択し、最終的に導出される指標セット（コア指標セット（**Core Metrics Set**））
- 「コア指標セット」は、**WHAT**（アウトカムの変化の水準）、**WHO**（アウトカムに関連して、誰が影響を受ける）、**HOW MUCH**（どの程度のアウトカムが生じるか）、**CONTRIBUTION**（事業による介入が無かったとしても、変化は起こり得るか）、**RISK**（想定インパクトを生み出せなかった場合、どのようなリスクがあるか）の**5項目**で構成される。

	導入技術		
	再エネ	省エネ	産業物発電
水産事業	再生エネルギー 水産資源管理 JCM スキーム	再生エネルギー 水産資源管理 JCM スキーム	
農業	再生エネルギー 農業資源管理 JCM スキーム	再生エネルギー 農業資源管理 JCM スキーム	
生産工場	再生エネルギー JCM スキーム	省エネ JCM スキーム	産業物発電 JCM スキーム
産業物/リサイクル	再生エネルギー 産業物/リサイクル JCM スキーム	再生エネルギー 産業物/リサイクル JCM スキーム	産業物発電 JCM スキーム
交通	再生エネルギー JCM スキーム	再生エネルギー JCM スキーム	産業物発電 JCM スキーム
建築物/家電	再生エネルギー JCM スキーム	省エネ JCM スキーム	産業物発電 JCM スキーム
災害	再生エネルギー JCM スキーム	再生エネルギー JCM スキーム	産業物発電 JCM スキーム
その他分野/分野を指定しない	再生エネルギー JCM スキーム	再生エネルギー JCM スキーム	産業物発電 JCM スキーム

ガイダンス（左表）の「導入技術」、「導入分野」からプロジェクトタイプを検索し、タイプごとの指標リスト（下図）を表示

SDGs目標・ターゲットごとのJCM指標リスト

SDGsの取組に関する評価・診断ツール (2023年8月)

KIBOH2030

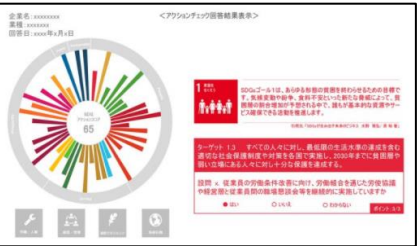
TSUMUGI@™

- 日本工営及びTREEが開発。2021年11月に本格版公開。
- 主な機能として、企業のSDGsゴール別の取り組みを評価し、その達成度をチャート及びスコアにより診断できる「アクションチェック」と、事業ごとにSDGsのゴール別の進捗状況を3段階で診断できる「ポテンシャル・ナビゲート」などで構成される。
- オンライン診断システムで有料で提供。

- 日本工営が法政大学川久保研究室の協力の下、開発。2023年4月に、本格運用を開始。
- Web上で設問に回答することで、自治体のSDGs推進に向けた取り組み状況・体制の達成度を診断し、チャートやスコアで結果を可視化する。
- 診断ツールの利用についてはTSUMUGI@事務局まで。

- 「アクションチェック」では、50問程度の質問に回答していくと、各ゴール、ターゲットの達成状況（%）を診断可能（左図）
- 「ポテンシャルナビゲート」では、対象とするSDGsゴールに関する質問を回答すると、当該ゴールの進捗状況を3段階で診断可能。（右図）

- 1. SDGsの理解、2. 取組体制の整備、3. 取り組み計画の実装と目標設定、4. 具体的な事業推進、5. フォローアップの実施別にスコアを表示。
- 自治体としての総合スコアに加えて、ゴール別や担当部署別にSDGs達成に向けた取り組み状況を一元管理、経年的な変化も把握することが可能。



アクションフェーズチェックにおける各種スコア
(上：ゴール別、下：庁内比較)